

# 令和7年度 自己評価報告書

様式 自己点検評価表(2024改訂版 Ver. 3.1)

実施日:令和 8 年 3月 13日

学校名:那覇市医師会那覇看護専門学校

## 1. 学校の教育理念・目的・目標

### 教育理念

本校は、人間への深い関心を示す豊かな感性と幅広い教養で、生命の尊厳と人権の尊重ができる倫理観を育み、人々の健康生活を支援し、社会に貢献できる自律した看護師を育成する。その教育は、学習者の主体性を大切に学習者と教師が共に学問を探究し築かれる。

### 教育目的

本校は、看護師に必要な知識、技術、態度を養い、人間力、判断力、基礎的な看護実践能力を育み、地域医療に貢献できる人材を育成する。

### 教育目標

1. 人間の生命を尊び、一人ひとりの権利を守る倫理的な行動をとることができる。
2. 他者とのより良い人間関係を築くことができる。
3. あらゆる発達段階、あらゆる人々の健康状態に応じた状況や現象に気づくことができる。
4. 科学的根拠に基づいた安全・安楽・自立に向けた看護が実践できる基礎的能力を身につける。
5. 看護の役割を理解し、保健・医療・福祉における多職種と連携・協働する基礎的能力を身につける。
6. 看護師としての自覚と責任を持ち、自己を振り返り生涯にわたり自己研鑽し続ける姿勢を身につける。
7. 看護師としての役割を認識し、地域における保健・医療・福祉の発展について考える基礎的能力を身につける。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 1 安定した学校運営

教育の目的・目標達成に向けて組織体制・財政基盤の安定を図り、学校経営・管理運営を円滑に進める。今年度は、学務システムの見直しを行うとともに、学校情報のDX化を図っていく。財務運営については、均衡のとれた財政管理に取り組む。特に、国・県からの運営費補助金等の堅持には一層の努力を行い、支出についても適切な節減に努める。

また、教育活動その他、学校運営の状況については、事業の達成状況と課題を明らかにし、更なる運営の安定化を目指し、自己点検・自己評価を継続的に実施していく。本校の特色ある教育活動及び教育全般等の結果については、ホームページ等で情報公開を行っていく。

看護の魅力を伝える機会を増やし看護職を目指す人材の発掘や、受験生へは新たに創設した那覇市医師会奨学金を学校の魅力として募集要項等で情報を発信する。

### 2 教育課程の円滑な運営

1 学年 120 名、学生総数 360 名の教育課程を円滑に運営するために、専任教員、学外講師ならびに臨地実習施設の確保・定着に努める。教育実践においては、カリキュラム評価を継続して行いディプロマ・ポリシー（期待する卒業生像）の達成度を分析し、教育内容や教育方法の課題を明確にして改善に努める。

また、導入したデジタルテキストも含めて評価を行い、ICTの活用や外部機関との連携で学習環境を整え、生命の尊厳を基盤に看護師に必要な基礎的知識、技術、態度を培えるよう創意工夫した取り組みを行う。更に学年を重ねるごとに発展的に学習ができるよう各領域間の連携を密にし、学生個々の自己教育力、社会人・組織人として将来を担う看護師に求められる能力を育成する。

### 3 教職員の資質の向上

教職員のキャリア開発を支援し資質向上を図る。授業評価・キャリアラダーを用いた目標管理については継続して評価面接を実施していく。年間研修計画を立案し、県内外で行われる研修会や教育研究学会等への参加も推奨・支援していく。今年度は、専任教員養成講習会と教務主任養成講習会へ各1名ずつ派遣を計画する。更に教員の教授能力及び教育管理能力を育成するための新人看護教員研修を全教員が受講できるように支援を行う。

### 4 教育環境の整備

ICT教育環境の整備を継続して行い、授業等がトラブルなく進められるよう学生の学習環境を整えていく。また、施設整備も継続して行い、今年度は、情報科学室のパソコンの入れ替えや図書室の環境改善を計画する。安全管理として施設の自主点検を定期的に行い、建物の破損防止、事故防止、火災防止等の強化を図り、保安全管理に万全の対策を講じる。その他、敷地内周辺の植え込みや花壇、ロビー等の植栽・美化に努めることで学生の情緒教育を促進する。

### 5 学生支援の強化

看護師としての基礎的能力の習得に向けて、学生の心身の健康・学習活動・経済的支援に努める。併せて、社会人・組織人としての基礎的能力、就職・進学等、看護師として働き続けるために、専門性の追求や絶えず学び続ける力、多様性や創造性を身につけることができるようにキャリア発達を支援する。さらに、奨学金、修学資金の相談や貸与支援、心の相談・学業相談、就職及び進路相談等に関して、相談しやすい環境や相談体制を整える。また、令和6年度に創設した学校独自の那覇市医師会奨学金、会員施設修学資金で学生支援を行う。学生の生活・学習状況の変化をキャッチし、早期から保護者・カウンセラーと連携し、学業継続ができるよう心のケア（メンタルヘルスケア）を配慮し支援する。

国家試験対策については、3年間の支援計画を立案し、入学年次から最終年次まで各学年の教育進捗計画に応じた国家試験対策を計画的に実施する。また、模擬試験及び学習状況を分析し、弱点克服に向けた個人指導を強化し継続的に支援する。

### 6 入学生・卒業生への支援

推薦入学者に対して、入学前にプレスクールを開催し、入学までの期待感・モチベーションが維持でき入学後の学習活動にスムーズに移行できるよう支援する。

卒業生に対しても、就職先に適応し、離職することなく仕事を継続できるよう卒業後5ヶ月目に里帰りを実施する。また、就職先との連携、教育へのフィードバックができるよう就職先や実習施設との連携・協働会議等の取り組みに努める。

### 7 広報活動

学び直し「リスキリング」に取り組む社会人受験者の確保に向け積極的に働きかけていく。

ホームページやブログ及びSNSをとおして、日頃の学校生活や学校の魅力を発信していく。また、学内機関紙「那覇看便り」の充実を目指す。学校説明会・学校祭・オープンキャンパスでは実際の学習内容や学校生活を紹介する。さらに、学校独自の職業ガイダンスの開催や進路説明会を行い、質の高い学生の確保に努める。

### 8 周辺地域及び学校との交流及び他校との情報交換

地域へ貢献するために地域活動に積極的に参加し、学生のボランティア活動も支援する。さらに、地域の児童・生徒の学校見学会や職場体験を受け入れ、看護職を理解し将来の看護師を目指すきっかけになるように努める。また、市町村や他機関等から講師派遣依頼等があれば派遣を行い、地域や他機関との交流を推進していく。併せて、日本看護学校協議会、沖縄県看護学校教育協議会の会長校としての会務運営にあたり、他の看護関連機関との連携を図る。

### 9 後援会及び同窓会活動の支援

学生の教科外活動への助成や看護師国家試験の対策、就職活動、その他、学生生活に必要な援助を後援会や同窓会から受けている。そのことを踏まえて、後援会及び同窓会がさらに活発に活動できるよう事務的支援を行う。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### 評価点（4段階評価）

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

|      | 評価項目         | 令和6年度 | 令和7年度 |      |
|------|--------------|-------|-------|------|
| 基準1  | 教育理念・目的      | 4     | 4     |      |
| 基準2  | 学校運営         | 3.9   | 3.9   |      |
| 基準3  | 教育活動         | 3.9   | 3.9   |      |
| 基準4  | 学修成果・教育成果    | 3.7   | 3.9   | +0.2 |
| 基準5  | 学生支援         | 3.4   | 3.6   | +0.2 |
| 基準6  | 教育環境         | 4     | 4     |      |
| 基準7  | 学生の受け入れ募集    | 4     | 4     |      |
| 基準8  | 教育の内部質保証システム | 3.8   | 3.8   |      |
| 基準9  | 財 務          | 4     | 4     |      |
| 基準10 | 社会貢献・地域貢献    | 3.7   | 4     | +0.3 |

#### 1 教育理念・目的

|   |                                            |    |
|---|--------------------------------------------|----|
| 1 | 教育理念・目的・育成人材像                              | 評価 |
| 1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか                    | 4  |
| 2 | 学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか          | 4  |
| 3 | 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか              | 4  |
| 2 | 教育の特色                                      | 評価 |
| 1 | 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか） | 4  |
| 2 | 学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか          | 4  |
| 3 | 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか              | 4  |
| 4 | 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか                 | 4  |

#### 基準1 教育理念・目標（4.0）

教育理念を実現するために、教育目的・目標を基盤に、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーを明文化し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の領域ごとにシラバスに掲げ教育計画を立案している。本校が目指す自律した看護師を育成するために、社会のニーズを踏まえた将来構想に関連する情報や医療現場で求められる人材や能力について、授業や実習等で学生や実習施設の指導者・外来講師等へ伝え、理解や協力を得ている。

学生が「自律した看護師」をめざし主体的に学べるよう、協同学習技法やプロジェクト学習を取り入れ、アクティブラーニングを教育活動として展開している。

#### 特記事項

教育理念を、学生・保証人（保護者）、関連施設、学外の方へも周知し、教育理念を花のロゴマークで表現し理解しやすいよう工夫している。保証人（保護者）には入学時の説明会で伝えており、オープンキ

キャンパスでも来校者へ説明を行っている。また、学年の節目に教育理念を学生が意識して学生生活に臨めるように、学校長講和の中でも取り入れている。

ディプロマポリシーでは、看護師として必要な知識・技術・態度・人間力・判断力・実践力を卒業生像として明確にしている。実習施設と連携協力の下、在学中の支援としてティーチングアシスタント（TA）と共に技術教育を行っている。

## 2 学校運営

|   |                                          |    |
|---|------------------------------------------|----|
| 1 | 運営方針(教育理念等に沿ったものになっているか)                 | 評価 |
| 1 | 教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか              | 4  |
| 2 | 運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか | 4  |
| 2 | 事業計画                                     | 評価 |
| 1 | 運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか                  | 4  |
| 2 | 学校の年間スケジュールはあるか                          | 4  |
| 3 | 運営組織                                     | 評価 |
| 1 | 学校の運営規程等が整備され、学校の運営会議等が開催されているか          | 4  |
| 2 | 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか | 4  |
| 3 | 運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に開催されているか           | 4  |
| 4 | 出退勤管理簿があるか                               | 4  |
| 5 | 教職員の健康診断がされているか                          | 4  |
| 6 | 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか                   | 4  |
| 4 | 教職員の評価・育成                                | 評価 |
| 1 | 資格・要件を備えた教員を確保しているか                      | 3  |
| 2 | 現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか              | 4  |
| 3 | 授業評価の実施・評価体制はあるか                         | 4  |
| 4 | 職員の能力開発のための研修等が行われているか                   | 4  |
| 5 | 人事・給与制度に関する制度                            | 評価 |
| 1 | 人事に関する制度を整備しているか                         | 4  |
| 2 | 給与に関する制度を整備しているか                         | 4  |
| 6 | 情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）        | 評価 |
| 1 | 報システム化等による業務の効率化が図られているか                 | 4  |

### 基準2 学校運営 (3.9)

運営方針は『那覇看護専門学校事業計画』に明文化している。重点目標・事業計画を教職員に提示し、中間評価を行い進捗状況の確認と後期に向けての取り組みを行っている。教職員会議が意思決定の場であり、会議規程を定め、定例会議等を開催し、議事録は開催ごとに作成している。学校運営委員会にて中期計画を説明し、必要に応じて改善し、承認を受けている。

教職員の評価・育成については、教職員の研修計画を取り入れ、自己研鑽の機会とし資質向上を図っている。看護教員養成講習会の未受講者については受講を計画的に進めており、令和7年度は1人受講を終了し、次年度も1人受講の予定である。人材確保については、ホームページやナースセンター等で採用広報を行っている。人事・給与制度は、法人の目的に則り、採用基準、採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用している。情報システムでは、業務の効率化を図るために学務システムを令和7年、8年度の2年計画で見直しを進めている。メンテナンスおよびセキュリティー管理を適切に運営ができるよう取り組み、学務システムのDX化を図る。

- ① 課題
  - ・小児看護と母性看護学担当の教員が未充足である。
- ② 今後の改善方策
  - ・人材確保については、引き続きホームページやナースセンター等で採用広報を行っていく。
  - ・情報システムでは、学務システムの見直しの継続を行う。
- ③ 特記事項
  - ・学生への情報発信をリアルタイムに実施できるよう、セキュリティ一面を考慮し迅速に情報を発信（共有するツールとして Google work space を活用している：時間割の配信等）
  - ・機材・環境を整えることが困難な学生に対応できるように、機材（タブレット）の貸出を継続する

### 3 教育活動

|   |                                             |    |
|---|---------------------------------------------|----|
| 1 | 教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか        | 評価 |
| 1 | 教育目的に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を定めているか     | 4  |
| 2 | 修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか          | 4  |
| 2 | 教育方法・評価等(各学科の教育目標に向けて、カリキュラム作成などの取組み)       | 評価 |
| 1 | 教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか        | 4  |
| 2 | 講義および実習に関するシラバスは作成されているか                    | 3  |
| 3 | 適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか                    | 4  |
| 4 | キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立った教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4  |
| 3 | 成績評価・単位認定等                                  | 評価 |
| 1 | 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか              | 4  |
| 2 | 学生や保証人に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件は提示されているか   | 4  |
| 3 | 専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか    | 4  |
| 4 | 資格・免許取得の指導体制                                | 評価 |
| 1 | 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか        | 4  |
| 5 | キャリア教育等                                     | 評価 |
| 1 | 学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力を育成しキャリア発達を促しているか  | 4  |
| 2 | 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか     | 4  |

#### 基準3 教育活動(3.9)

教育課程については履修要綱（シラバス）で明確にし、講義、演習、校内実習においては協同学習やシミュレーション、校内実習にはティーチングアシスタント(TA)の教育参加を行うなど工夫している。成績評価の基準について学則（学生便覧）に規定し、かつ学生に明示している。看護師資格取得の意義、目標、取得までの取り組み内容を明確にし、資格取得に向けて国試対策ゼミや、業者模擬試験等計画的に実施し、指導体制を整えている。

授業評価は全教員が実施する体制を整えており、授業評価を各自の授業改善へ役立てている。また、1単位以上の講義を行う外来講師の授業評価も実施しており結果はフィードバックしている。

- ①課題
  - ・各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているが、教員の個人差があるので今後、整える必要がある。（例：三観を含めた授業案もある。略案の授業案もある。）
- ②今後の改善方策
  - ・各科目でコマシラバス作成の確認を行い共有ファイルに保存し、ブラッシュアップを図る。
  - ・全教員が、授業参観を計画的に行い、他教員から授業評価やアドバイスなどを受ける機会を増やす。

## 4 学修成果・教育成果

|   |                                           |    |
|---|-------------------------------------------|----|
| 1 | 学修成果                                      | 評価 |
| 1 | コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか | 4  |
| 2 | 育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか         | 4  |
| 2 | 就職率(就職率の向上が図られているか)                       | 評価 |
| 1 | 就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)  | 4  |
| 2 | 学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか                 | 4  |
| 3 | 学生の就職活動に関する記録がなされているか                     | 4  |
| 4 | 対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)           | 4  |
| 3 | 資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)            | 評価 |
| 1 | 資格取得率の向上が図られているか(資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか) | 4  |
| 2 | 資格・検定・コンペに関する目標を設定したか                     | 4  |
| 3 | 資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか            | 4  |
| 4 | 社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)         | 評価 |
| 1 | 卒業生の社会的な活躍及び評価を把握しているか                    | 3  |

### 基準4 学修成果・教育成果 (3.9)

就職率100%を目標に設定し、事務部で就職先を把握しデータ化している。  
 就職説明会は県内の病院を招き校内で実施(令和7年まで)、インターンシップやオープンホスピタル等の就職情報の配信を行っている。また、就職セミナーを各学年で企画し就職支援をしている。  
 看護師資格取得について、100%を目標設定し、1年生から3か年計画のもと国家試験対策を実施している。毎年、合格実績を学校案内に表示し、全国の合格率とともに比較を行い、指導方法と結果を分析し指導方法を検討している。令和7年度は国家試験合格率95%、就職率96.1%、進学率2.9%である。  
 卒業生の社会的評価に向けて、卒後の実態を調査で把握することは十分にできていないため、実態把握ができるよう具体的な計画を立案していくことが課題である。卒業生の研究業績については、学会発表等、学会誌で確認し把握するよう努めている。

#### ①課題

- ・卒業生の卒後の実態を調査で把握することができていないため、卒業生の社会的評価ができていない

#### ②今後の改善方策

- ・既卒生の実態把握ができるよう、計画を立案して実施する(classroomのある期から)  
(現在の勤務先・勤務年数・卒業後のキャリアアップ・働き続けられる職場環境)
- ・卒業生の研究業績については、学会発表等、学会誌で確認し把握することは継続する。

## 5 学生支援

|   |                                            |    |
|---|--------------------------------------------|----|
| 1 | 学生の修学支援に関する支援組織体制を整備しているか                  | 評価 |
| 1 | 就職等進学に関する支援組織体制は整備されているか                   | 4  |
| 2 | 学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)         | 4  |
| 3 | 奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか          | 4  |
| 4 | 学生の健康管理を行う体制を整備しているか                       | 4  |
| 5 | 学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制) | 2  |
| 6 | 課外活動に対する支援体制は整備されているか                      | 4  |
| 7 | 退学率の低減が図られているか                             | 3  |

|    |                                        |   |
|----|----------------------------------------|---|
| 8  | 保証人（保護者）と適切に連携しているか（保証人のニーズを把握しているか）   | 4 |
| 9  | 卒業生への支援体制を整備しているか                      | 4 |
| 10 | 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか            | 4 |
| 11 | 卒業生への卒後教育等の支援体制はあるか（卒業生への講習・研修を行っているか） | 3 |

### 基準5 学生支援（3.6）

学生の就職等進学に関しては、学年担当教員と事務職員は連携しており、学生の就職活動の状況は学内で共有している。学生の学業継続の相談に関しては、各学年チーム担当教員や教務部長が面談し、必要時、学校長、保護者も交えて面談を実施している。また、心理カウンセラーの活用の促がしや、必要時、相談医を紹介している。学生の経済面に対する支援として、困窮している学生には各奨学金の紹介や、個別相談に応じている。

学生の健康管理では、学校健康診断、抗体価検査、予防接種計画を定め、年1回の学校健診を行い2次検診が必要な学生には随時指導を行っている。健康面で問題がある場合には、担当教員との連携を行って支援している。保護者に対して、入学式後に学校説明会を開催し、本校の教育理念・目的・目標及び教育課程内容の説明を行っている。また、後援会役員会及び総会を通して学校の教育活動状況や学校の支援体制について説明し周知を図っている。

卒業生の支援として、卒後5ヶ月に「里帰り」を開催している。

#### ①課題

- ・学生の退学要因、退学者数および理由は把握している。学習が継続できるように、支援の方法について検討が必要である。

#### ②今後の改善方策

- ・学生の退学要因、退学者数および理由は把握している。今後も要因分析は引き続き行う。  
令和8年度より単位未履修の学生を支援する方法として、複数学年に在籍しての単位習得を認める。  
（例：2学年に在籍しながら、1学年で単位未履修の科目を受講する）

#### ④ 特記事項

- ：令和6年度から「那覇市医師会奨学金制度」を創設して授業料免除等の支援を行っている。
- ：課外活動の支援として、サークルマニュアルを作成しサークル活動を再開した。

## 6 教育環境

| 1 施設・設備等         |                                             | 評価 |
|------------------|---------------------------------------------|----|
| 1                | 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか            | 4  |
| 2                | 学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか                  | 4  |
| 3                | 教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか                   | 4  |
| 4                | 施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか             | 4  |
| 2 学外実習、インターンシップ等 |                                             | 評価 |
| 1                | 学内外の実習施設、インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか        | 4  |
| 2                | 実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか | 4  |
| 3 防災・安全管理        |                                             | 評価 |
| 1                | 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか                   | 4  |
| 2                | 防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか        | 4  |
| 3                | 定期的に防災訓練を実施しているか                            | 4  |
| 4                | 学校における安全管理の整備を行っているか                        | 4  |

### 基準6 教育環境（4.0）

施設・整備等に関しては、看護師養成所の運営ガイドラインに基づき機械器具、標本、模型及び図書を十分に整備している。また、法定点検や日常点検を定期的に行い必要に応じて部品の取替や修繕を行って

いる。学校の防災・安全管理に関して、学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備している。施設・建物・設備の耐震化を確認している。消防設備等の整備及び保守点検を法令に基づき適切に対応しており、防災・安全管理に関する組織体制は整備され適切に運営されている。学生の生命と学校財産を守るための防犯体制を整備し、外来者の管理、記名と入館許可書着用をしている。

#### 特記事項

- ・基礎看護実習室の他にセルフスタディールームを設けており、個人またはグループで、いつでも自由に看護技術を高め合うことができる。
- ・施設整備として、エレベーターのリニューアル工事、各教室の机と椅子の入れ替え、図書室の環境整備、トイレの改修工事（和式トイレを洋式トイレへ改修）を行い、学生の学習環境を整えた。

## 7 学生の募集と受け入れ

| 1 学生募集活動 |                                                    | 評価 |
|----------|----------------------------------------------------|----|
| 1        | 学生募集活動は、適正に行われているか                                 | 4  |
| 2        | 学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか             | 4  |
| 3        | 学校説明会等による情報提供(評価手段及びその基準、目指す資格・学費の情報)を行っているか       | 4  |
| 2 入学選考   |                                                    | 評価 |
| 1        | 学校案内等には選抜方法が明示されているか                               | 4  |
| 2        | 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選考を行っているか                   | 4  |
| 3 学納金    |                                                    | 評価 |
| 1        | 学納金は妥当なものとなっているか                                   | 4  |
| 2        | 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか                   | 4  |
| 3        | 入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18 文科高第 536 号)に基づき対応しているか | 4  |

### 基準7 学生の受け入れ募集 (4.0)

学生募集活動に関しては、生徒向けのガイダンスや高校の進路指導教員に対する学校説明会の開催、保護者への学校説明会等、積極的に情報提供に取り組んでいる。また、パンフレットやホームページでの学校紹介にも力を入れている。オープンキャンパスや学校祭においても来校者へ入試情報を説明している。

入学選考に関しては、入学選考基準や方法について入試規程に定め運用している。少子化の影響により受験者数が減少していく中、受験者数・辞退者数・受験倍率・合格率を管理し、学生募集に活かしていくかが課題である。引き続き、予備校への説明会の実施や学び直し「リスキリング」に取り組む社会人受験者の確保に向けた働きかけに取り組んでいく。学校紹介ブログのコーナーを開設し、学内の様子を伝えている。情報発信ツールとして若者に定着のあるインスタグラムも活用している。

#### ①課題

- ・少子化の影響により受験者数が減少しており、入学定員に満たないため、追加の入試試験を2回実施。

#### ②今後の改善方策

- ・入試科目を3科目から2科目に変更し、受験の難易度を改善する。(AO入試も計画する)
- ・社会人受験生の確保に向け、パンフレット内容を社会人の紹介項を増やす。

#### ③特記事項

- ・文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項やホームページに明示し、授業料の返還を行っている。



## 8 教育の内部質保証システム

|                 |                                            |    |
|-----------------|--------------------------------------------|----|
| 1 関係法令、設置基準等の遵守 |                                            | 評価 |
| 1               | 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか              | 4  |
| 2               | 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか            | 4  |
| 2               | 関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか        | 3  |
| 2 個人情報保護        |                                            | 評価 |
| 1               | 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか                | 4  |
| 2               | 個人情報保護規程が文書化されているか                         | 4  |
| 3               | 個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか         | 4  |
| 3 学校評価          |                                            | 評価 |
| 1               | 学校教育、学校運営について、自己点検評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか  | 4  |
| 2               | 自己点検評価報告書にまとめているか                          | 4  |
| 3               | 自己点検評価の組織があるか                              | 4  |
| 4               | 学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか | 4  |
| 4 改革・改善         |                                            | 評価 |
| 1               | 自己点検評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか                 | 4  |
| 2               | 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか      | 3  |
| 3               | 自己点検評価の結果に基づき改善計画を策定したか                    | 4  |
| 4               | 自己点検評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか     | 3  |
| 5               | 学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか                   | 4  |
| 5 教育情報の公開       |                                            | 評価 |
| 1               | 教育活動に関する情報公開が適切になされているか                    | 4  |
| 2               | 自己評価結果を公開しているか                             | 4  |
| 3               | 学校関係者評価結果を公表しているか                          | 4  |

### 基準 8 教育の内部質保証システム (3.8)

関係法令の設置基準に基づき学校を運営し届け出ている。運営に必要な規則・規定等は、整備し適切に運用しており、個人情報保護に関する対策の実施や教職員に対して周知している。ハラスメント等の防止規定は作成されているが、継続して教職員に対して、ハラスメント防止の研修を行う必要がある。また、「合理的配慮」の法令遵守の取り組みとして具体的な支援体制の整備を行う。学校関係者評価結果は報告書にとりまとめ、学校関係者評価委員会の意見も合わせてホームページに掲載している。

#### ①課題

- ・ハラスメント等の防止規定は作成されているが、継続して教職員に対して、ハラスメント防止の研修を行う必要がある。
- ・「合理的配慮」の法令遵守の取り組みとして、具体的な支援体制の整備を行う。

#### ②今後の改善方策

- ・継続して教職員に対して、ハラスメント防止の研修を計画する。  
(令和8年度は、教職員及び学生に対して、実施予定である)
- ・「合理的配慮」の規程に基づき、教職員で共有の場を設けて支援体制の協議を行う。

#### ③特記事項

- ・今年度、本校は行政による「看護師等養成所指導調査」が行われた。看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインに基づいて、指導事項については改善に努めている。

## 9 財務

|   |                                           |    |
|---|-------------------------------------------|----|
| 1 | 財務基盤                                      | 評価 |
| 1 | 教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか      | 4  |
| 2 | 年度予算・中期計画が策定されているか                        | 4  |
| 2 | 予算・収支計画                                   | 評価 |
| 1 | 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか                  | 4  |
| 2 | 予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか                  | 4  |
| 3 | 監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)               | 評価 |
| 1 | 私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか | 4  |
| 4 | 財務情報の公開                                   | 評価 |
| 1 | 財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか                  | 4  |
| 2 | 財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか      | 4  |

### 基準9 財務(4.0)

中期的な教育目標(計画)に基づき、予算計画を立て安定した運営ができるよう努力している。特にコスト管理においては、支出状況を把握して毎年項目別にコスト削減に努めている。また、監査法人による定期監査を実施し指導を受けている。財務情報はホームページで情報公開している。

### 特記事項

県から学校運営費の補助を受けており、財務管理においても県の要綱に従い管理、運営を行っている。

## 10 社会貢献・地域貢献

|   |                                             |    |
|---|---------------------------------------------|----|
| 1 | 社会貢献・地域貢献                                   | 評価 |
| 1 | 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか             | 4  |
| 2 | 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか | 4  |
| 2 | ボランティア活動                                    | 評価 |
| 1 | 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか             | 4  |
| 2 | 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか | 4  |

### 基準10 社会貢献・地域貢献(4.0)

オープンキャンパスや学校祭を通じて、高校生や地域の方々と交流をしている。また、学生会を中心にボランティア活動を行っている。ビーチクリーン活動として環境問題への貢献、実習施設や地域における災害訓練では、負傷者役として参加し貢献している。

### 特記事項

ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励し、学生の活動実績を評価し、卒業時に表彰している。ボランティア活動を行った学生に対し、SDGsパスポートにて自己管理ができるようにしている。